

# なめがた地域医療センターが小規模クリニックに!?

## それは困ります



### 住民に、安全安心の医療体制確保を!

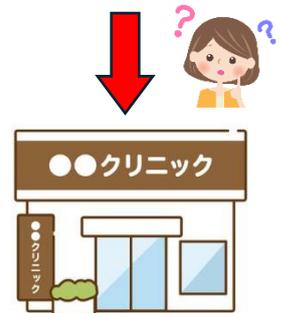
\*なめがた地域医療センターは、2000年に県、地元市町村・農協等から約40億円の財政支援を受けて鹿行地域の救急医療機関・総合病院として大きな期待と共に建てられた公的医療機関です。しかし、2019年、2021年と2度の機能縮小が行われ、現在、救急受入れと入院機能は停止しています。



### 住民も地元自治体も願いは同じ…更なる縮小はあり得ない

2023年12月4日、行方市とJA茨城県厚生連は、なめがた地域医療センターの外来機能維持のための協議・検討、総合病院土浦協同病院での行方市民の救急受入体制の充実など6項目の「**地域医療に係る連携協力に関する協定**」を締結し、2024年度も引き継いでいます。

\*それなのに、なめがた地域医療センターを運営しているJA茨城県厚生連は、24年3月の臨時総会で、今後のなめがたの要員計画として、医師3・薬剤師1・看護師4・事務員3・看護助手1の計12人体制とする計画を決議してしまいました。(令和5年度末現在は76人体制)



### 厚生連は「持続可能な医療体制をめざす」というけれど?

#### <厚生連が想定している小規模クリニック体制になったら…>

2024年9月現在の常勤職員数と診療科	クリニック(12人体制)での診療計画(案)
常勤医師6、薬剤師2、看護職員28、事務員11、検査技師4、放射線技師5、リハビリ職員6、その他職員14 合計76人+非常勤医師25人以上	常勤医師2、非常勤医師1、薬剤師1、看護職員5、事務員3 合計12人 ※検査は外部発注、放射線技師は土浦より派遣
<b>【外来】</b> ・内科(5診): 膠原病内科、呼吸器内科、循環器内科、腎臓内科、血液内科、消化器内科、ペースメーカー外来。 小児科・整形外科・外科・脳神経外科・皮膚科・泌尿器科・眼科・産婦人科・耳鼻咽喉科	<b>【外来】</b> ・内科: 1診 ・小児科: 1診 ・整形外科: 1診
<b>【腎センター】、【健診センター】、【訪問看護】、【リハビリ(訪問リハビリ)】</b>	<b>【腎センター廃止】</b> <b>【健診センター・訪問看護・リハビリは土浦を拠点】</b>
	検査結果が当日わからない… 同じ外来特化でも、さらに不便だなあ…
	今来ている非常勤の先生に、もう診てもらえなくなるのかな…

医療は社会インフラです。住民の生活基盤の機能が低下し、失われてしまえば、安心して住み続けられる地域でなくなります。医療過疎が地域の過疎化を加速させます。

## 「人口が少ない・減る地域だから、医療需要が減る」は間違い！

- ◎高齢化率が上がれば、医療需要はますます増えます
- ◎そこにかかれる病院（診療科）があるから、患者が集まる  
病院・診療科があることが絶対的に大事なのです
- ◎人口が少ない・減っても、求められる診療機能は大きく変わりません

佛教大学社会福祉学部准教授 長友薫輝氏（地域医療論・社会保障学・医療福祉政策論 専攻）  
「今、地域医療に必要なこと～第8次医療計画から考える人口減少等医療格差～」講演より

## 国や県への要請、自治体の協力も不可欠！

このままでは縮小となり、安全安心の医療の提供が難しくなります。そのため、病院の機能を守るために、国や県・自治体に支援を要請する活動を継続しています。

◀これまでの自治体要請活動▶

### ●県・行方市・銚田市・鹿嶋市の6月議会に請願と署名提出

→県は不採択、鹿行3市は趣旨採択 鹿嶋市においては国・県に対し意見書を提出。

### ●神栖市、潮来市の9月議会に請願、他3市(行方・銚田・鹿嶋)に再度陳情を提出

- ① 9/17(火) 神栖市議会 委員会にて請願の審議 →結果：趣旨採択  
鹿行5市が連携し県や厚生連に足並みを揃えて要請する内容であるとの意見も。
- ② 9/24(火) 潮来市議会 委員会で請願採択 10/3(木) 本会議 趣旨採択  
意見書・要望書提出については継続審査となる。

## 子どもや孫たちへ「住み続けられる街を手渡したい」 それがみんなの願いです

3月30日付 新聞折込みチラシ&署名に多くの反響！ご協力に感謝します

わたしたち茨城県厚生連労働組合は、なめがた地域医療センターの機能縮小によって「鹿行地域の医療が崩壊の危機。地域の皆さんに知らせよう」と3月30日付の新聞に「鹿行地域の医療体制充実・なめがた地域医療センターの機能回復を茨城県と厚生連に求める署名」を折込みました。連日、郵便・ファックス・Googleフォームで3,375筆の署名、約400件の「私の思い」が届きました。「なめがた地域医療センターはこの地域に無くてはならない存在」「近くにあるからこそこの地域で安心してくらしていける」「農協組合員からの出資、国・県や自治体からの補助金で建てられた公的病院としての責任を果たしてほしい」等、みなさんの切実な思いが寄せられました。

引き続き、一緒に活動して下さる方を募集しています

**地域医療拡充の活動と一緒に！地域医療を考える懇談会(仮)を計画中**

ご協力・賛同いただける方は、

茨城県厚生連労働組合までご連絡ください。

TEL:029-227-0463 FAX:029-228-3439

Googleフォームで登録→

